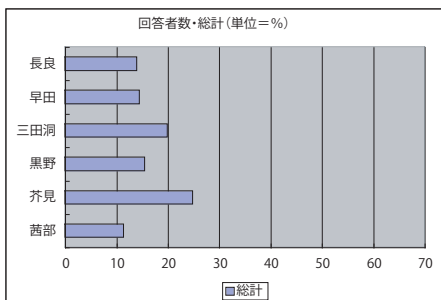


# 岐阜市民の交通手段別の 買い物行動について。

～暮らしと公共交通アンケート調査より

堀達哉、辻貴雅、  
勢田由己、森建輔

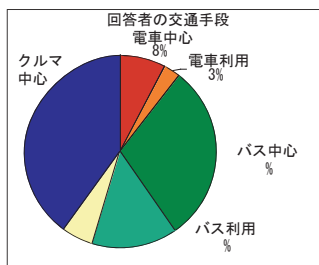
昨年から今年にかけて、私たちは岐阜市自治会連絡協議会のみなさまにご理解を得て、国土交通省岐阜国道事務所、ぎふまちづくりセンター、国土交通省中部運輸局よりの支援のもと、対象地区7校区／サンプル数1033を数える



	茜部	芥見	黒野	三田洞	早田	長良	総計
クルマ利用など	13.06	32.98	13.7	17.56	13.06	9.636	100
路面電車利用	7.273	58.18	1.818	2.727	28.18	1.818	100
バスのみ利用	10.53	8.553	20.61	26.54	12.5	21.27	100
総計	11.33	24.88	15.49	19.94	14.42	13.94	100

岐阜市内の「暮らしと公共交通アンケート調査」を実施した。その成果は別途レポートしているが、このなかから、どのような地区からどのような方が回答を寄せているのかを確認した。すると、意外にも市内各所から路面電車利用者が回答を寄せていた。

1) 市内各地区からの回答者数計7地区を対象とした調査(うち長良西地区と長良地区とは、両地区をあわせた南半分を対象としたため、実際の地区割りは6つのうち、回答者数は左表の通り。芥見地区で昨年8月、長良、長良



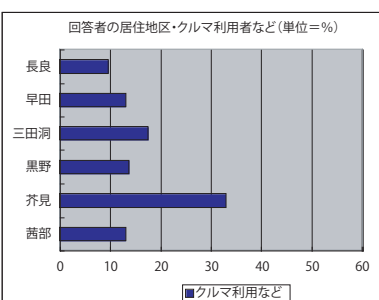
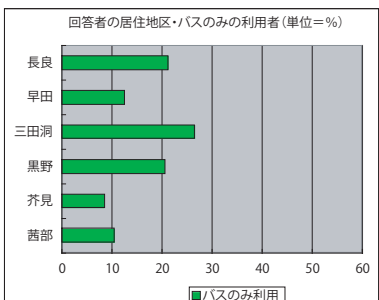
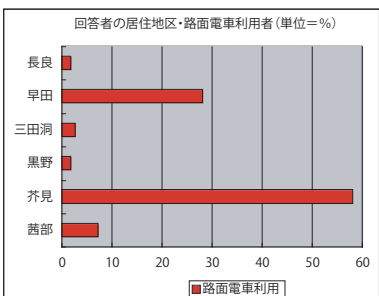
西、早田の長良川右岸地区で同9月、茜部、三田洞、黒野で今年3月に調査を行った。これを、「路面電車」「バス」「自家用車」の利用者に分けて、それぞれの地区ごと手段ごとの回答者の比率をみる。

なお、回答総数に占める路面電車利用者、バス利用者、クルマ利用者の比率は左表の通りであり、以下のグラフは、絶対数の差が出ないよう、地区間の利用者数の違いを百分率で示している。

## 2) 路面電車利用者

左図は地区間の回答者割合を示すが、市内全域に路面電車利用者が(意外にも?)、在住しているようである。

芥見地区と早田地区は、いわば目の前に路面電車が走っている状態



で、路面電車利用者たる回答者が多いのはいわば当然だが、他の地区からも利用されていることが分かった。とくに茜部地区からの路面電車利用者が多く、バスで新岐阜駅まで来て、そこから路面電車に乗り換えているようである。

## 3) バスのみの利用者

バス利用者は、路面電車利用者の数の多さに影響を受けて、芥見地区、早田地区では比較的小さな値になっているが、これは上記の路面電車利用者にバス利用者である人も含まれるからである。

それを差し引くと、バス利用にいちばん便利な三田洞がいちばん多い回答者数を集めている。

## 4) クルマ利用者

本件調査に於いては、生活に於け